

## 齋藤一信議員



### 笠岡市の図書事業について

**議員** ①学校図書館システムの導入と市立図書館とのネットワーク化導入についての考えをたずねる。

②最近地域のビジネス支援としての図書館の役割が注目されている。起業、商品開発を支援するための資料を作成したり、商工会議所等と連帯するなど、地域経済に貢献する試みも始まっている。本市図書館のビジネス支援としての役割についての考えをたずねる。

**教育長** ①人的配置や設備面等様々な課題があり、現段階では想定していない。

②公共図書館が地域のビジネスを支援する取組みは、

県立図書館を中心に組み立てられており、専門的司書による選書、レファレンスサービス等の提供があると聞いているが、本市では、企業等に関する専門的書籍を、最新情報の資料やリクエストにより購入するなどして支援したいと考えている。

### 笠岡市の消費者教育の充実について

**議員** 高齢者のインターネットに関する相談件数が増える一方、インターネットゲームの課金等の原因による未成年に関する相談件数も増加傾向にあると言われている。本市においても、早期の消費者教育の充実に取り組んでいくべきと考えるが、どうか。

**市長** 関係機関、団体と連携をとりながら消費者被害防止の啓発パンフレットの全戸配布等による広報活動を進めるとともに消費生活センターでの相談員による相談窓口を設けているところである。

らである。

**議員** 学校現場で教育の一環として消費者教育を授業として取り組む自治体が増えている。本市ではどうか。

**教育長** 文科省が定める消費者教育の推進に関する基本方針等に基づいて指導している。例えば、小学校では、物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を与えることや身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できるように指導している。

## 仁科文秀議員



### 域学連携の推進について

**議員** 大学生や大学教員が地域の現場に入り、課題解

決や地域づくりに取り組む活動に本格的に取り組んでいってはどうか。

**市長** 本市の施策推進に効果的であるとともに、受け入れる地域にとっても良い刺激となり、活性化につながるものと考えている。今後大学生等のインターンシップを活用しながら地域の課題解決や新たな視点による施策の展開を図っていききたい。

**議員** 例えば北木島での若者仕事づくり島合宿事業をはじめ、大学生を招いての体験を市民はホームページの中でしか知ることができない。こういった活動、状況、成果を市民に対して報告する取組みを考えてはどうか。

**建設産業部長** 現在、具体的な取組みを考えてはいないが、何らかの形でお知らせをする必要があると考えている。

**議員** 県道から住宅地に入りする道路は1か所しかなく、その道路も幅員がわずか5mであり、大型車両の場合交互通行が困難である。近くを流れる浜中川や今立川等の氾濫も考えられる中で、どう認識しているのか。

**建設産業部長** 現在の道路の構造を見ても、特段、危険を招く道路構造があるわけではない。出入り口は多くなればなるほど交通事故の発生確率が高くなるので、一概に進入場所を増やせばいいというわけではない。氾濫については堰を入れるなどで対応し、管理者と協議したい。

**議員** 市長は、一番重要なのは定住促進だと言っている。市が責任を持って開発許可をしたと受け取るが、万一の災害時には、市は責任を持たないのか。

**市長** 市民生活の安全安心を守るのが行政。業者に対して、地元の意見を含めてお願いを続けていきたい。

### 西大島新田団地の住民の不安解消に向けて